

令和5年度学校評価の概要

山梨市立山梨南中学校

2月には、「学校評価」をするための生徒及び保護者アンケートをさせていただきました。その後、生徒・保護者アンケート集計も参考にしながら、教職員アンケートをしました。アンケート結果については、PTA・生徒活動後援会合同役員会及び学校運営協議会で提示させていただき、出席者からご意見を伺うことが出来ました。今回の学校評価をもとにして、学校長はR6年度の学校経営について重点目標と具体的努力点を設定していきます。また、本校教職員は、各学年や分掌での活動目標と具体策を作成していきます。以下は、アンケート集計を「肯定的な回答の割合が高い」項目と「肯定的な回答の割合が低い」項目に分けたものです。

| (1) 知・徳・体の調和を重視し、「生きる力」を育む適切な教育課程の編成と実施／学習指導要領に基づいた指導計画の評価と改善の充実に努める。 | |
|---|---|
| 肯定的な回答の割合が高い | (1)-1 社会や生活の大きな変化を前向きに受け止め、人生をより豊かにしていくためにどうすべきか主体的に考えている。91.35(1年)／93.34(3年) (1)-2 日頃から校訓や学校の目標を意識しながら、「より良い山梨南中学校」を目指し取り組んでいる。97.14(1年)／90.91(3年)／100(教員) (1)-2 生徒と教師が一体となり、「より良い山梨南中学校」を目指し取り組む姿勢が感じられる。75.15(保) (1)-3 自分の将来に夢や希望を持ち、自立した大人になるために必要となる力を付けるよう努力している。95.15(1年)／93.94(3年)／66.06(保護者) (1)-6 我が子は、先生と話をしたり相談したり触れ合う時間が十分にある。63.64(保護者) (1)-7 外部講師を招いた学習会などでは、世の中の課題について考えたり意識を深めている。92.93(3年)／71.52(保護者)／92.86(教員) (1)-8 キャリア教育や各種講演会などを通して、生徒の「生きる力」の育成に努めてきた。96.43(教員) |
| 割合が低い | (1)-4 グローバルな視点を持ち、英語力の向上に努力している。68.04(2年)／48.48(保護者)／60.71(教員) (1)-4 CAN-DO リストを基にした授業づくりを行った。64.29(教職員) (1)-5 英語検定等の検定試験を積極的に受けようとしている。40.70(1年)／36.08(2年)／46.46(3年)／24.24(保)／78.75(教職員) (1)-6 先生と話をしたり相談したり触れ合う時間が十分にある。70.10(2年) (1)-6 教員が生徒と向き合う時間を確保するため、多忙化解消の取組を積極的に進めた。60.71(教職員) |
| 今後は | 自身の人生を主体的に考え、将来に夢や希望を持ち、自立した大人を目指して努力している生徒が9割を超えていて、生徒の成長が見られます。適切な教育課程が実施されていると言えます。外部講師等を招いた学習も効果的に生かされているので、次年度も積極的に推進していくことが求められます。英語教育については、より積極的なアプローチが必要であると思います。多忙化解消については、教育活動と教職員の学校業務のDXをさらに進める必要があります。 |

| (2) 確かな学力と自立する力の育成／ICTの積極的な活用を図る中で、主体的で対話的な深い学びの実現に向けた授業改善に努める。 | |
|---|--|
| 肯定的な回答の割合が高い | (2)-1 先生たちは、楽しく魅力ある授業をしてくれるので、学習意欲が湧き、学習内容もよく理解できる。95.96(3年)／64.85(保護者)／92.86(教員) (2)-2 基礎学力(基本的な計算・漢字・英単語等、各教科の基本的事項)が身につくように宿題や課題が出されるので、基礎学力が定着してきている。93.43(1年)／66.06(保護者)／96.43(教員) (2)-3 授業では、めあてが提示され、振り返りが行なわれている。95.96(3年)／100(教員) (2)-4 「話す」「聞く」「書く」「読む」ことを使って、記録や要約、説明、論述、話し合うなどの活動が授業の中によくある。97.17(1年)／93.81(2年)／98.99(3年)／61.82(保護者) (2)-4 生徒の知識・技能を高め、思考力・判断力・表現力が身につくよう授業の工夫・改善に努めてきた。92.86(教員) (2)-5 授業では、よく考え、自分で判断し、いろいろな表現を試み、学習したことを、意識的に活用しようとしている。96.23(1年)／95.96(3年)／64.24(保護者) (2)-5 授業は、生活と関連づけた宿題や課題などを出す中で、学習内容の習得に努めてきた。92.86(教員) (2)-6 我が子の学級は、授業規律が確立していて、子供たちは授業に集中している。72.12(保護者)／100(教) (2)-7 自主学习ノート(整理と対策)の取り組みは、自分にとって家庭学習の習慣化や学力向上に役立っている。93.94(3年)／70.91(保護者)／92.86(教員) (2)-8 「自学」学習時間の取り組みは、自分にとって効果があると思う。90.91(3年)／67.27(保護者) |

| | |
|--------------|--|
| 肯定的な回答の割合が低い | <p>(2)-3 授業では、めあてが提示され、振り返りが行なわれている。76.29(2年) /59.39(保護者)</p> <p>(2)-6 あなたの学級は、授業規律が確立していて、みんな集中して授業を受けている。78.35(2年)</p> <p>(2)-7 自主学习ノート(整理と対策)の取り組みは、自分にとって家庭学習の習慣化や学力向上に役立っている。78.35(2年)</p> <p>(2)-8 「自学」学習時間が生徒にとって効果的な時間になるように工夫し取り組んできた。75.00(教員)</p> <p>(2)-8 「自学」学習時間の取り組みは、自分にとって効果があると思う。79.38(2年)</p> <p>(2)-9 全国学力・学習状況調査や県学力把握調査の結果分析と改善策を共有した。64.29(教員)</p> <p>(2)-9 全国学力・学習状況調査や県学力把握調査の課題などが、授業で生かされている。 58.76(2年) 77.78(3年)</p> <p>(2)-9 全国学力・学習状況調査や県学力把握調査の課題などについて、学校から説明があった。48.48(保)</p> <p>(2)-10 ピックアップ問題等を授業で積極的に活用した。46.43(教員)</p> <p>(2)-10 教科書以外の問題等が授業で扱われている。61.86(2年)、79.86(3年)、46.06(保護者)</p> |
| 今後は | <p>「話す」「聞く」「書く」「読む」ことを使って、よく考え、自分で判断し、表現する活動が日常的に行われ、主体的で対話的な深い学びの実現が意識的に図られています。学習意欲が向上し、基礎学力の定着も見られるので、さらなるICTの活用を進め、授業改善をすることが求められます。家庭学習や自学については、今後も目的と内容、方法を確認した上で進めていく必要があります。学力調査の結果等のフィードバックについては、工夫改善する必要があります。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>(3)「豊かな心・しなやかな心」を育み、生徒の自己実現を図る力の育成/適切な生徒理解と居場所づくりに努めると共に、道徳教育の充実に努める。</p> | |
| 肯定的な回答の割合が高い | <p>(3)-1 先生たちは、必要がある時、親身になって相談にのってくれる。91.92(3年) /100(教員)</p> <p>(3)-2 本校はいじめや暴力行為がなく、安心して生活できる学校である。 90.65(1年) /90.72(2年) /93.94(3年) /67.88(保護者) /100(教員)</p> <p>(3)-3 本校は、誰にとっても居場所がある学校になっている。92.52(1年) /90.91(3年) /100(教員)</p> <p>(3)-4 道徳の時間で扱われる内容は、自分の生き方を考える内容のものとなっている。 95.28(1年) /91.75(2年) /94.95(3年) /63.64(保護者) /100(教員)</p> <p>(3)-5 道徳の時間は、自分をいろいろな立場や場面に置き換えて、考えたり議論したりする場面がある。 97.22(1年) /92.78(2年) /97.98(3年) /67.27(保護者) /96.43(教員)</p> <p>(3)-6 本校は生徒一人一人に応じた生徒指導をしている。90.48(1年) /96.43(教員)</p> <p>(3)-7 あなたの学級では、お互いを認め合ったり学び合ったりしている。 92.52(1年) /91.75(2年) /93.94(3年) /73.33(保護者) /100(教員)</p> <p>(3)-8 自分は、交通ルールの遵守、あいさつの励行、言葉づかいなど、社会的ルールやマナーを意識して守っている。95.41(1年) /96.97(3年) /91.52(保護者)</p> <p>(3)-9 職業調べや職場体験・進路学習・進路指導などは、自分の将来の自立に役立っている。 97.17(1年) /95.96(3年) /77.58(保護者) /100(教員)</p> <p>(3)-10 自分たちで考え、自分たちの力で取り組む生徒会活動が進められている。 100(1年) /92.78(2年) /92.93(3年) /87.27(保護者) /96.43(教員)</p> <p>(3)-11 自分にとって、部活など学校の活動において、楽しみややりがいのある活動がある。 92.52(1年) /94.95(3年)</p> <p>(3)-11 節度ある部活動のもと、体力・技能等の向上と自主性及び好ましい人間関係の育成に努めた。100(教)</p> <p>(3)-13 読書活動や文化芸術活動、美化活動等によって、学校がうるおいのある居場所になっている。 92.52(1年) /92.93(3年) /67.88(保護者) /92.86(教員)</p> <p>(3)-14 校外学習や総合的な学習等で、人や文化・自然と関わることで、自分の心が豊かになる。 95.41(1年) /90.72(2年) /94.95(3年) /80.61(保護者) /96.43(教員)</p> <p>(3)-15 我が子は、困った時や悩みがある時にSOSの出し方を知っている。71.52(保護者)</p> |
| 肯定的な回答の割合が低い | <p>(3)-1 我が子は、悩みや困ったことについて、教職員に相談できる。53.33(保護者)</p> <p>(3)-3 本校は、欠席が多かったり、集団での生活に困難さを感じている生徒に対し、その生徒に応じたきめ細かい支援を行っている。41.82(保護者)</p> <p>(3)-6 本校は生徒一人一人に応じた生徒指導をしている。52.73(保護者) /73.20(2年)、</p> <p>(3)-8 体系的・系統的なキャリア教育の充実に努めた。78.57(教員)</p> <p>(3)-12 「きずなの日」の意味や役割を知っている。46.06(保) /61.54(1年) /39.18(2年) /49.49(3年)</p> <p>(3)-12 「きずなの日」の趣旨が生かされている。53.57(教員)</p> <p>(3)-15 困った時や悩みがある時にSOSの出し方を知っている。70.10(2年) /74.75(3年)</p> <p>(3)-15 SOSの出し方に関する教育に積極的に取り組んだ。71.43(教員)</p> |
| 今後は | <p>いじめや暴力行為がなく、誰にとっても安心して生活できる居場所がある学校づくりに取り組み、成果が表れています。考え議論する道徳をはじめ、一人一人に応じた生徒指導、自分たちの力で取り組む生徒会活動によって、お互いを認め合ったり、学び合ったりする環境がつけられています。ただし、こうした活動の具体的な事例について、保護者への情報提供が足りない面があります。「きずなの日」の意味も含め、学校の教育活動を丁寧に保護者に伝えていく必要があります。</p> |

| (4) 健康でたくましい体の育成／体力の向上と健康教育の充実に努める。 | |
|--|---|
| 肯定的な回答の割合が高い | (4)-1 家庭においては、我が子は生活リズムが整い、規律ある生活習慣が身についている。 77.58 (保護者) (4)-1 生徒の生活実態調査を活用するなどして、規律ある生活習慣の確立に向け指導してきた。92.86 (教員) (4)-2 保健体育の授業や体育的行事、部活動は、自分の体力の向上につながっている。 94.44 (1年) /95.96 (3年) /86.67 (保護者) /100 (教員) (4)-3 体力テストの結果が授業や体育的活動に生かされている。90.38 (1年) (4)-4 「食」や「生活の安全」について学ぶことが「心身の健康の保持増進」につながることを理解している。 95.37 (1年) /90.72 (2年) /96.97 (3年) /71.52 (保護者) /100 (教員) (4)-5 給食をはじめ家庭や家庭外での食生活では、食育を意識している。 91.35 (1年) /73.33 (保) /92.86 (教) |
| 割合が低い | (4)-1 自分は、生活リズムが整えられていて、規律ある生活習慣が身についている。77.32 (2年) (4)-3 体力テストの結果について学校から説明があった。44.24 (保護者) (4)-3 「一校一実践」や体力テストの結果に基づく授業改善を進めた。89.29 (教員) |
| 今後は | 規律ある生活習慣の指導をはじめ、保健体育の授業や部活動、食育や生活安全についての学習によって、自身の体力向上や心身の健康増進につながっていることへの理解が進んでいます。引き続き、家庭と連携して生徒の体力と健康の増進に取り組む必要があります。体力テストの家庭へのフィードバックについては今後改善していきます。 |

| (5) 一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実／自立・社会参加に必要な資質の育成に努める。 | |
|--|--|
| 割合が高い | (5)-1 学校は、生徒一人一人が必要とする支援をしている。91.43 (1年) 91.92 (3年) (5)-2 生徒の実態に応じた適切な教育課程や指導形態を工夫し、一人一人を伸ばす指導と評価に努めた。 92.86 (教員) (5)-4 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする生徒への適切な指導と配慮に努めた。96.43 (教) |
| 割合が低い | (5)-1 本校は、生徒一人一人が必要とする支援をしている。57.58 (保護者) (5)-1 校内委員会のもと、全校的な特別支援教育の支援体制を確立した。67.86(教員) (5)-2 本校の特別支援学級や通級指導教室などでは、生徒の実態に応じた適切な教育課程や指導形態を工夫し、一人一人を伸ばす指導と評価に努めている。49.70 (保護者) (5)-3 本校の特別支援学級や通級指導教室は、切れ目のない支援に努めている。 41.82 (保護者) (5)-3 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成・活用し、切れ目のない支援を行った。85.71 (教員) (5)-4 本校は、特別な教育的支援を必要とする生徒への適切な指導と配慮に努めている。47.88 (保護者) |
| 今後は | 生徒一人一人が必要とする支援や一人一人を伸ばす指導と評価が図られています。また、通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする生徒への適切な指導も行われています。通級指導教室の効果的な利用も進んでいます。ただし、特別支援教育の趣旨や内容について、保護者への説明や情報提供は不足しています。PTA行事や学校開放日などを通じて、またお便り等を通じて、積極的に情報提供を進めていく必要があります。 |

| (6) 安全・安心な教育環境の整備／生徒の危機管理意識を高め、安全管理体制の拡充に努める。 | |
|--|---|
| 肯定的な回答の割合が高い | (6)-1 我が家では、日頃から家族で大地震などの自然災害が起きた場合の対応を確認している。 64.85 (保) (6)-1 交通ルールへの遵守、あいさつ、言葉づかいなど社会的ルールやマナーの徹底を日常的に指導してきた。 100 (教) (6)-2 学校の防災訓練や避難訓練の実施や緊急時の防災マニュアルについて、理解している。61.21 (保護者) (6)-2 安全教育を計画的に実施し、生徒の危機管理意識の向上に努めてきた。100 (教員) (6)-2 防災訓練や避難訓練は、いざという時の行動に役に立っている。 94.17 (1) /91.75 (2) /92.93 (3年) (6)-3 学校は、施設や設備が整備されていて安全である。 97.20 (1年) /91.75 (2年) /95.96 (3年) /70.91 (保護者) /100 (教員) (6)-4 先生は、安全や安心について丁寧に指導している。 95.24 (1年) /92.93 (3年) /73.33 (保護者) |
| 割合が低い | (6)-1自分は、日頃から大地震などの自然災害が起きた場合どうするかシミュレーションしている。 76.53 (1年) /60.82 (2年) /78.79 (3年) (6)-3「危機管理マニュアル」を見直し、実践的な防災・防犯等の訓練を計画的に実施した。89.29 (教員) (6)-5 学校安全に関する校内研修を実施し、教職員の対応能力や指導力の向上に努めた。78.57 (教員) |
| 今後は | 防災訓練や避難訓練など安全教育を計画的に実施することで、生徒の危機管理意識が高まっています。施設や設備の整備も進み安全性も保たれています。しかし、最近の地震の多発など、災害の備えは引き続き丁寧に取り組んでいく必要があります。日頃からの災害に対するシミュレーションについては、今後より実践的な訓練や学習を進めていく必要があります。また、地域や家庭との連携をより強化して、地域の防災力の向上を目指す必要も感じます。 |

| (7) 家庭・地域に信頼される学校づくりの推進／家庭・地域との連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。 | |
|---|---|
| 肯定的な回答の割合が高い | (7)-1 開かれた学校づくりを進めている。100 (教員) (7)-1 学校は、地域から大切にされていると感じる。94.39(1年)/90.72(2年)/94.95(3年)/84.24(保護者) (7)-2 学校は日々の生活や行事・活動について、その都度反省し課題を明らかにしている。 97.22(1年)/95.96(3年) (7)-3 学校は、保護者や地域、関係機関等との協力を大事にしている。 98.17(1年)/90.72(2年)/94.95(3年)/81.21(保護者)/96.43 (教員) (7)-4 子供たちは地域の行事に進んで参加している。69.09(保護者)/96.43 (教員) (7)-5 学校から出される各種たよりや通知等は、忘れずに親に渡している。90.48(1年) (7)-5 学校から出される各種たよりや通知等(マチコミやホームページ含む)で、学校の様子がよく理解できている。90.30(保護者)/100 (教員) (7)-6 自分は、学校の良い所や、地域の良い所や誇れるものを知っていて、それを生かしたいと思っている。 94.95(3年)/96.43 (教員) (7)-6 「地域とともにある学校づくり」をめざす、コミュニティ・スクールの趣旨を理解している。 66.06(保護者) |
| 割合が低い | (7)-2 学校評価は、学校改善・信頼される学校づくりに効果的な活用がなされている。 59.39(保護者) (7)-2 日々の生活や行事・活動についてその都度反省し課題を明らかにしている。また保護者に伝えている。 89.29(教) (7)-5 学校から出される各種たよりや通知等は、忘れずに親に渡している。76.29(2年) |
| 今後は | 学校が地域から大切にされていると感じたり、保護者や地域、関係機関等との協力を大事にしていることがよく理解されています。学校の教育活動を広く公開している成果が感じられます。各種便りやマチコミ、ホームページ等で学校の様子をお知らせしていますが、今後も引き続き積極的に取り組んでいく必要があります。学校評価やコミュニティ・スクールについては、保護者や地域にわかりやすい活動や取組の工夫をしていく必要があります。 |

| (8) 感染症対策等を踏まえた教育活動の充実／教育課程の確実な実施と安全で健康的に生活できる学校づくりを推進する。 | |
|---|--|
| 肯定的な割合が高い | (8)-1 学校は、新型コロナやインフルエンザなどの感染症に対して、感染が広がらない対応を取っている。 91.51(1年)/93.94(3年)/83.64 (保護者) /100 (教員) (8)-2 自分は、健康観察や換気、手指消毒、手洗い、3密の回避等、「新しい生活様式」を常に意識して生活している。 92.45(1年)/96.43 (教員) (8)-2 我が子は家庭では、健康観察や換気、手指消毒、手洗い、3密の回避等、「新しい生活様式」を常に意識して生活している。77.58 (保護者) (8)-3 感染症対策も取りつつ、行事や部活動などは充実した活動ができている。 95.28(1年)/90.72(2年)/95.96(3年)/92.73 (保護者) /96.43 (教員) |
| 今後は | 感染症対策には十分に注意を払いながら、行事や部活動など充実した教育活動が実施できています。感染症については、ほぼ年間日常的に発生しています。今年度も学級閉鎖や放課後の活動停止などの措置も行っています。今後も引き続き、「新しい生活様式」の徹底と家庭での健康管理、感染症発生時の早期対応を進めていく必要があります。 |

◎アンケート集計のまとめ 全体的な傾向

| |
|--|
| ①生徒のアンケートについては、肯定的回答の割合が3つの学年で80%を超えていました。全体的な傾向は悪いわけではありませんが、1割以上の生徒が肯定的な回答をしていないこととなります。引き続き、積極的な働きかけが必要です。 |
| ②学年で比較すると、1,3学年が90%に近くなっていますが、2学年は85%未満になっています。この違いは、人数にすると10人に近くなるので、課題として捉えなければなりません。3学年が一番高いのは、学校全体にとって良い評価となると思います。 |
| ③質問項目で回答しづらい、あるいは分からない項目もあったと考えられます。年度当初の目標設定とアンケート内容については、さらに吟味していく必要があると思います。 |
| ④保護者のアンケートについては、forms を使いましたが、回収率が半分程度でした。全員のアンケートが必要であるとは思いますが、保護者が回答しやすい、分かりやすい質問内容を考えていく必要があります。 |
| ⑤保護者アンケートの肯定的回答の割合は平均で60%程度です。生徒の回答と比べるとずいぶん低くなっています。ただし、「わからない」という回答も20%程度あるので、70%を超えている項目は、比較的良好な評価であると言えます。「わからない」の回答が少なくなるよう、学校教育活動の保護者への情報共有をさらに進めていく必要があります。 |

⑥保護者の自由記述については、厳しいご意見をたくさんいただきました。まだまだご理解が進んでいない教育活動も多くなっています。保護者との協働を積極的に進める必要があります。

⑦教職員の働き方改革、あるいはコロナ禍での活動制限によって、学校と保護者の距離が離れてしまっていると感じます。令和5年度には、学校の教育活動の積極的な保護者・地域への公開をしてきました。また学校だよりの地区回覧やHPからの積極的な情報提供をしてきました。しかし、まだまだ不十分であり、今後も積極的に進めていく必要があります。学校開放日等の設定によって、保護者や地域の方々が自由に学校を訪問できることは可能になっていますが、一方で、保護者同士が集まって相談したり話し合ったり、悩みを共有したりという機会がほとんどありませんでした。学校への理解を深め、教育活動をより円滑に充実させるためには、そういう場の設定が必要になります。PTAの意見をしっかりつかみ、ともに歩んでいけるようにしたいと思います。

学校評価のまとめ

学校評価の進め方やまとめ方については、今年度は不十分な対応となってしまいました。目標設定については、学校運営協議会等で承認されていますが、PTAには説明のみで、意見をいただく場面がありませんでした。当然生徒についても、あらためて学校の経営方針等について説明する場面はありませんでした。次年度は、これから学校がどういう方向に進むのかということ、生徒・保護者、地域の皆様と話し合いながら、一体となって決め、活動を進めていく必要があると思います。

今回の学校評価のアンケートを活用し、さらに改善を図り、保護者の信頼と協力を得ながら、「信頼される学校」を目指して、よりよい教育活動を進め、生徒の成長を促していきたいと思います。